

## 1 この科目の構成について

教 科	国語科	科 目	基礎小論文	単 位	1 単位
対象コース	カレッジコース 文系	対象クラス	3年4組		
使用教科書	小論文実力養成講座 ステップアップ小論文（第一学習社）				
使用副教材	なし				

## 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	自分の考えを相手に正しく伝えることを目的とします。文章表現の基礎から始まり、より充実した内容の小論文の書き方を身に付けていきます。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	様々な問題について、自分の考えを持ち、それを理解してもらうためにはどのような表現方法をとるのが一番適切かを、実際に文章を書くことによって学びます。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校	テーマに対するアプローチ、考え方を確認しながら、文章の書き方や論の展開の仕方を修得します。
(2) 家庭	家庭では、新聞や雑誌などのメディアを通じて、課題に関する情報を集め、学校の演習の時間にそれを活用して書くこととなります。

## 3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	原稿用紙の使い方・誤字脱字の有無・書き方のパターン・内容などを教科担当者が読み、一人ひとりの課題文を添削し、評価をつけて返却します。定期考査は実施しません。
評価における定期考査の割合	

## 4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度	結論を導き出し、最後まで書き終えようとする態度を評価します。
(2) 思考・判断	結論を導くために合理的、客観的な例を示せるかを評価します。
(3) 技能・表現	結論を理解してもらうために読み手を考えた表現を示せるかを評価します。
(4) 知識・理解	正しい表現技法、文字、言葉遣いが出来ているかを評価します。

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知
1	4	小論文とは何か	作文と小論文の違いを認識し、小論文についての基礎的な考え方を確認します。	●	●		
		書く材料を見つける	絵や写真を見て、自分はその中の何を表現するかを考えます。その内容が状況を的確につかむことになっているかを考えます。	●	●		●
		設問のポイントを読み取る	自分の見方、考え方を述べる際に、設問の要求に合っているものかを考えます。	●	●		●
		別の視点からも考える	物事の良い面、悪い面を対立的にとらえることによって物事を深く見詰め、問題解決へと導くことができますようにします。	●	●		●
	5	原因を明らかにする	原因や背景を分析することによって、書く内容を深めます。	●		●	
		文章内容を要約する	文章全体の要旨を押さえ、主題を把握できるようにします。	●	●	●	●
		データ型小論文の書き方	データを読み取り、問題点とその解決策を論述します。数値の最大、最小に注目し、変化の度合いに気がつくようにします。	●	●	●	
	6	小論文はどう書くのか	小論文を書くプロセスを確認します。	●	●		
		課題文を理解する	課題文を正確に読み取り、それを活かした論述を展開します。	●	●	●	●
		自分の考えを明確にする	身近な問題、社会的問題二つの場合に合わせた書き方で書きます。	●	●	●	●
2	8	具体的説明で根拠を示す	原因や理由の説明が必要であることを理解します。適切な具体例の探し方を学びます。	●	●	●	●
		効果的な段落構成	読み手に効果的に自分の意見伝えるために、効果的な段落構成で論述する練習をします。	●	●	●	
	9	推敲の仕方と評価の基準	推敲の仕方や評価の基準を知ることによって、自分の文章を客観的に見る力を養います。	●	●		
		実戦力を養う	入試過去問を実際に書いてみることにより、完成度の高い小論文を目指します。（データ型、要約問題付課題文型、融合型など） ◎テーマに合わせて道徳教育を実施。	●	●	●	●
	11	(1) 情報化社会					
		(2) 教育問題					
12	(3) 食生活						
	(4) 科 学						
3	1	(5) 法 律					
		(6) 社会問題					